

1 長野県版レッドリスト(動物編 脊椎動物)2015 カテゴリー新規追加種

RL No	綱名	科名	Family	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリー追加理由等
1	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	クロホオヒゲコウモリ	<i>Myotis pruinus</i>		CR	少数の生息が確認されたため
2	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	チチブコウモリ	<i>Barbastella leucomelas darjelingensis</i>		CR	少数の生息が確認されたため
9	鳥類	タカ科	Accipitridae	オオワシ	<i>Haliaeetus pelagicus</i>		CR	越冬期に数羽の生息が確認されたため
11	鳥類	ミサゴ科	Pandionidae	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i>	N	EN	個体数が少ないことが確認されたため
12	鳥類	タカ科	Accipitridae	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla albicilla</i>		EN	越冬期に極めて少数の生息が確認されたため
18	鳥類	ハヤブサ科	Falconidae	チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo subbuteo</i>	N	EN	個体数が少ないことが確認されたため
19	鳥類	ハヤブサ科	Falconidae	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>	N	EN	個体数が少ないことが確認されたため
6	鳥類	カモ科	Anatidae	ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula clangula</i>		VU	越冬期に少数の生息が確認されたため
9	鳥類	チドリ科	Charadriidae	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>		VU	一部地域で少数の個体の生息が確認されたため
10	鳥類	シギ科	Scolopacidae	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>		VU	渡りの時期に少数の個体の定期的な通過が確認されたため
11	鳥類	シギ科	Scolopacidae	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>		VU	渡りの時期に少数の個体の定期的な通過が確認されたため
20	両生類	アカガエル科	Ranidae	トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i> (旧学名 <i>Rana porosa porosa</i>)		VU	生息環境の悪化が懸念されるため
7	鳥類	カイツブリ科	Podicipedidae	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis nigricollis</i>		NT	主に秋季に少数の個体の定期的な通過が確認されたため
9	鳥類	サギ科	Ardeidae	コサギ	<i>Egretta garzetta garzetta</i>		NT	一部地域で個体数の減少が確認されたため
12	鳥類	シギ科	Scolopacidae	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>		NT	渡りの時期に少数の個体の定期的な通過が確認されたため
13	鳥類	シギ科	Scolopacidae	ハマシギ	<i>Calidris alpina sakhalina</i>		NT	渡りの時期及び越冬期に少数の個体の定期的な生息が確認されたため
21	両生類	イモリ科	Salmandridae	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>		NT	生息環境の悪化が懸念されるため
22	両生類	アカガエル科	Ranidae	トノサマガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i> (旧学名 <i>Rana nigromaculata</i>)		NT	生息環境の悪化が懸念されるため
1	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	モリアブラコウモリ	<i>Pipistrellus endoi</i>		DD	個体数動向の情報がないため
2	哺乳類	オヒキコウモリ科	Molossidae	オヒキコウモリ	<i>Tadarida insignis insignis</i>	N	DD	留意種の基準変更及び個体数動向の情報がないため
11	両生類	アカガエル科	Ranidae	ネバタゴガエル	<i>Rana neba</i>		DD	2014年に新種として記載されたが、分布、個体数動向についての詳細な情報がないため
12	魚類	コイ科コイ亜科	Cyprinidae Cyprininae	ナガブナ	<i>Carassius buergri</i> subsp. 1		DD	一部水域で生息しているが、個体数動向の情報がないため
13	魚類	コイ科コイ亜科	Cyprinidae Cyprininae	キンブナ	<i>Carassius buergri</i> subsp. 2		DD	一部水域で生息しているが、個体数動向の情報がないため
14	魚類	ドジョウ科	Cobitidae	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>		DD	国外移入種との交雑が懸念されるため

2 長野県版レッドリスト(動物編 脊椎動物)2015 カテゴリー変更種

RL No	綱名	科名	Family	和名	学名	2004年版	2015年版	カテゴリー変更理由等
1	鳥類	トキ科	Threskiornithidae	トキ	<i>Nipponia nippon</i>	EX	EW	野生復帰個体が県内で確認されたため
5	鳥類	クイナ科	Rallidae	ヒクイナ	<i>Porzana fusca erythrothorax</i>	VU	CR	生息情報が非常に少なく、個体数の減少及び生息環境の悪化が強く懸念されるため
6	鳥類	シギ科	Scolopacidae	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	EN	CR	生息環境に限られ、個体数の継続的な減少及び生息環境の悪化が強く懸念されるため
7	鳥類	タマシギ科	Rostratulidae	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis benghalensis</i>	EN	CR	生息情報が非常に少なく、個体数の減少及び生息環境の悪化が強く懸念されるため
8	鳥類	カモメ科	Lariidae	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	EN	CR	生息情報が非常に少なく、個体数の減少及び生息環境の悪化が強く懸念されるため
15	鳥類	ホオジロ科	Emberizidae	コジュリン	<i>Emberiza yessoensis yessoensis</i>	EX	CR	非繁殖期に稀に確認されたため
19	魚類	アユ科	Plecoglossidae	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	EW	CR	天然遡上が確認されたため
2	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	カグヤコウモリ	<i>Myotis frater kaguyae</i>	CR	EN	生息情報が増加したため
3	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	ホンドノレンコウモリ	<i>Myotis nattereri bombinus</i>	EX	EN	少数の生息が確認されたため
5	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	ヒナコウモリ	<i>Vespertilio superans</i>	DD	EN	少数の越冬場所及び繁殖場所が確認されたため
6	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	ニホンコテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis sylvatica</i>	DD	EN	少数の生息が確認されたため
7	鳥類	キジ科	Phasianidae	ライチョウ	<i>Lagopus muta japonica</i>	VU	EN	一部の山域で消失が確認され、個体数の減少及び生息環境の悪化が懸念されるため
9	鳥類	サギ科	Ardeidae	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis sinensis</i>	VU	EN	生息情報が少なく、個体数の減少及び生息環境の悪化が懸念されるため
10	鳥類	サギ科	Ardeidae	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	VU	EN	生息情報が少なく、個体数の減少及び生息環境の悪化が懸念されるため
13	鳥類	タカ科	Accipitridae	サシバ	<i>Butastur indicus</i>	VU	EN	生息環境に限られ、個体数が少ないことが確認されたため
15	鳥類	フクロウ科	Strigidae	アオバズク	<i>Ninox scutulata japonica</i>	VU	EN	生息環境に限られ、個体数が少ないことが確認されたため
16	鳥類	フクロウ科	Strigidae	トラフズク	<i>Asio otus otus</i>	VU	EN	生息環境に限られ、生息情報が非常に少ないため
17	鳥類	フクロウ科	Strigidae	コミミズク	<i>Asio flammeus flammeus</i>	VU	EN	生息環境に限られ、生息情報が非常に少ないため
21	鳥類	ヨシキリ科	Acrocephalidae	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps bistrigiceps</i>	NT	EN	生息環境に限られ、個体数の減少及び生息環境の悪化が懸念されるため
4	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	ニホンウサギコウモリ	<i>Plecotus auritus sacrimontis</i>	NT	VU	生息地が減少したため
7	鳥類	サギ科	Ardeidae	ササゴイ	<i>Butorides striata amurensis</i>	NT	VU	一部地域で個体数の減少が確認されたため
17	鳥類	カワセミ科	Alcedinidae	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris lugubris</i>	NT	VU	一部地域で個体数の減少が確認されたため
22	魚類	ヤツメウナギ科	Petromyzontidae	スナヤツメ(北方種)	<i>Lethenteron</i> sp. 1	VU	VU	県内の分布が特定されたが、生息環境の減少が懸念されるため
23	魚類	ヤツメウナギ科	Petromyzontidae	スナヤツメ(南方種)	<i>Lethenteron</i> sp. 2	VU	VU	県内の分布が特定されたが、生息環境の減少が懸念されるため
25	魚類	メダカ科	Adrianchthyidae	ミナミメダカ(メダカ南日本集団)	<i>Oryzias latipes latipes</i>	EN	VU	生息分布情報が増加したため
6	鳥類	カイツブリ科	Podicipedidae	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus cristatus</i>	VU	NT	一部地域で、比較的個体数が多いことが確認されたため

3 長野県版レッドリスト(動物編 脊椎動物)2015 カテゴリー除外種

RL No	綱名	科名	Family	和名	学名	2004年版	2015年版	理由等
	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i>	NT	除外	多地点での生息が確認されたため
	哺乳類	ヒナコウモリ科	Vespertilionidae	ニホンテングコウモリ	<i>Murina leucogaster hilgendorfi</i>	NT	除外	多地点での生息が確認されたため
	鳥類	ハト科	Columbidae	アオバト	<i>Treron sieboldii sieboldii</i>	NT	除外	個体数が多いことが確認されたため
	鳥類	チドリ科	Charadriidae	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	NT	除外	河川敷のほか造成地等にも生息し、個体数が多いことが確認されたため
	鳥類	タカ科	Accipitridae	ノスリ	<i>Buteo buteo japonicus</i>	NT	除外	個体数が多いことが確認されたため
	鳥類	フクロウ科	Strigidae	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	NT	除外	個体数が多いことが確認されたため
2	鳥類	サンショウクイ科	Campephagidae	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus divaricatus</i>	VU	N	県内では個体数が多いため

長野県版レッドリスト(動物編 脊椎動物)2015 付属資料(絶滅のおそれのある地域個体群・留意種)でカテゴリー変更のあった種のうち、レッドリストの追加・変更・除外の対象とならなかった種

RL No	綱名	科名	Family	和名	学名	2004年版	2015年版	理由等
	哺乳類	キクガシラコウモリ科	Rhinolophidae	ニホンキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum nippon</i>	N	除外	留意種の基準変更のため
	哺乳類	キクガシラコウモリ科	Rhinolophidae	ニホンコキクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus cornutus cornutus</i>	N	除外	留意種の基準変更のため
	哺乳類	ウシ科	Bovidae	ニホンカモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	N	除外	留意種の基準変更のため
	鳥類	カモ科	Anatidae	コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus jankowskyi</i>	N	除外	留意種の基準変更及び個体数が多数のため
1	鳥類	カモ科	Anatidae	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	LP	N	個体数が多いことが確認されたため
	鳥類	カモ科	Anatidae	マガモ	<i>Anas platyrhynchos platyrhynchos</i>	LP	除外	個体数が多いことが確認されたため
	鳥類	ヤツガシラ科	Upupidae	ヤツガシラ	<i>Upupa epops saturata</i>	N	除外	留意種の基準変更及び迷行種のため
	鳥類	ハヤブサ科	Falconidae	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus interstinctus</i>	N	除外	留意種の基準変更及び個体数が多数のため
	両生類	オオサンショウウオ科	Cryptobranchidae	オオサンショウウオ	<i>Andrias japonicus</i>	N	除外	国内移入種と考えられるため
	魚類	サケ科	Salmonidae	木崎湖のサクラマス個体群 (付属資料:地域個体群)	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	LP	除外	特殊な生活型を裏付ける証拠が確認できないため(現存個体群は放流されたビワマス)